

ひきこもり**当事者**から見た ひきこもり**支援**の在り方



生活困窮者自立支援制度人材養成研修
2020年10月
ぼそっと池井多

なぜ就労支援ではダメなのか

社会に適用する
スキルを教える

そんなものは
その気になればいつでも学習できる
多くの当事者は潜在的な能力を持っている

問題は ……

問題は その気にならないこと

「自分は何者か」

「何のために働くか」

哲学的な問い

当事者自身でたどりつく答えであり
支援者が与えられるものではない



親

支援者

代弁

子(当事者)



親

翻訳

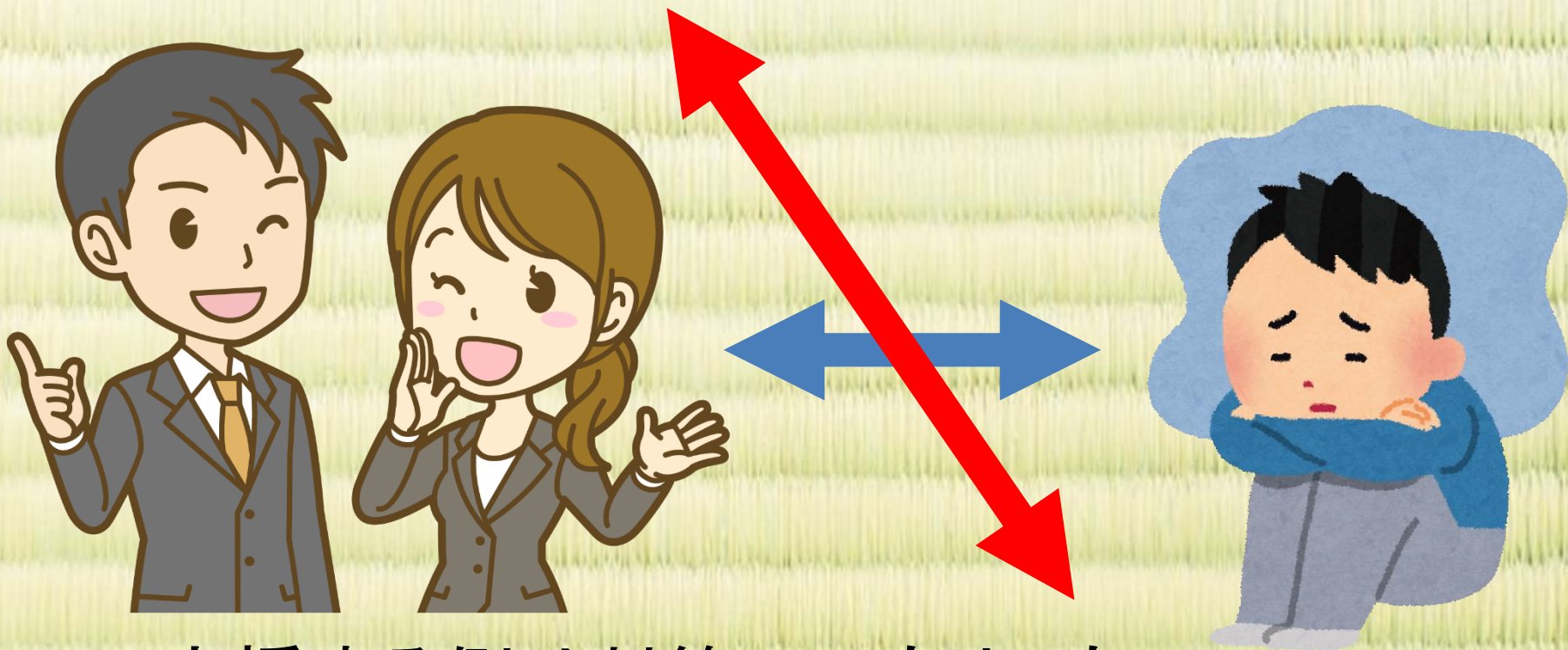
支援者

子(当事者)

社会のことば

当事者
のことば

「支援される」 という状態に潜む優劣感覚



支援する側は対等のつもりでも.....

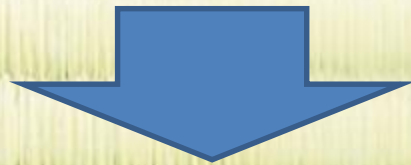
ひきこもり支援で行政が
直接できることは **あまりない**

限りある予算とマンパワー

コストパフォーマンスの問題

行政による

ひきこもり当事者への個別訪問
は、果たして効果的なのか？



当事者活動の後方支援

の方が効果的

ひきこもり当事者の諸層

当事者活動
できる層

当事者活動
に参加できる層

いつか参加したい
と思っている層

ガチこもり
サバルタン
的当事者

L1

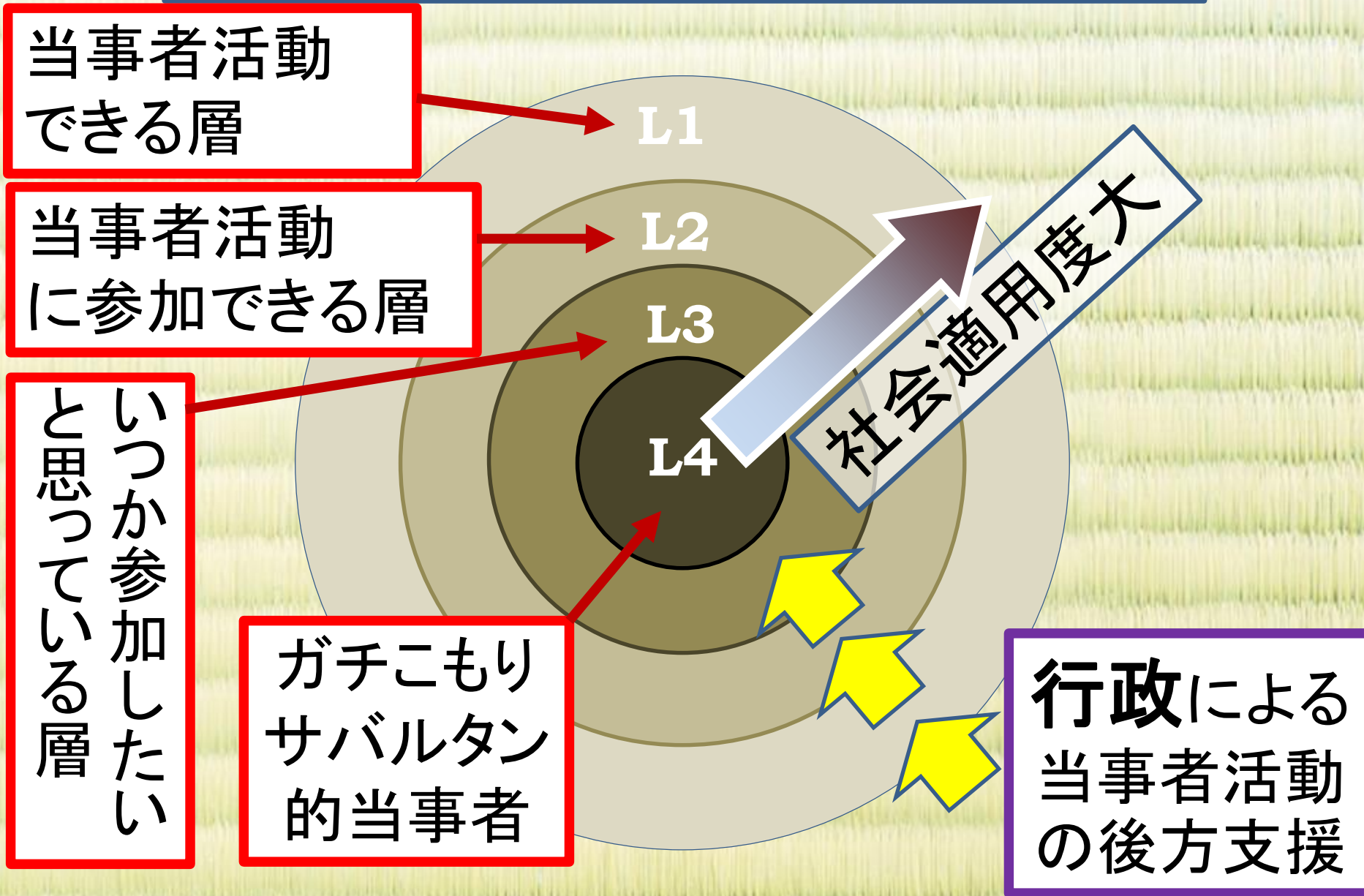
L2

L3

L4

社会適用度大

行政による
当事者活動
の後方支援

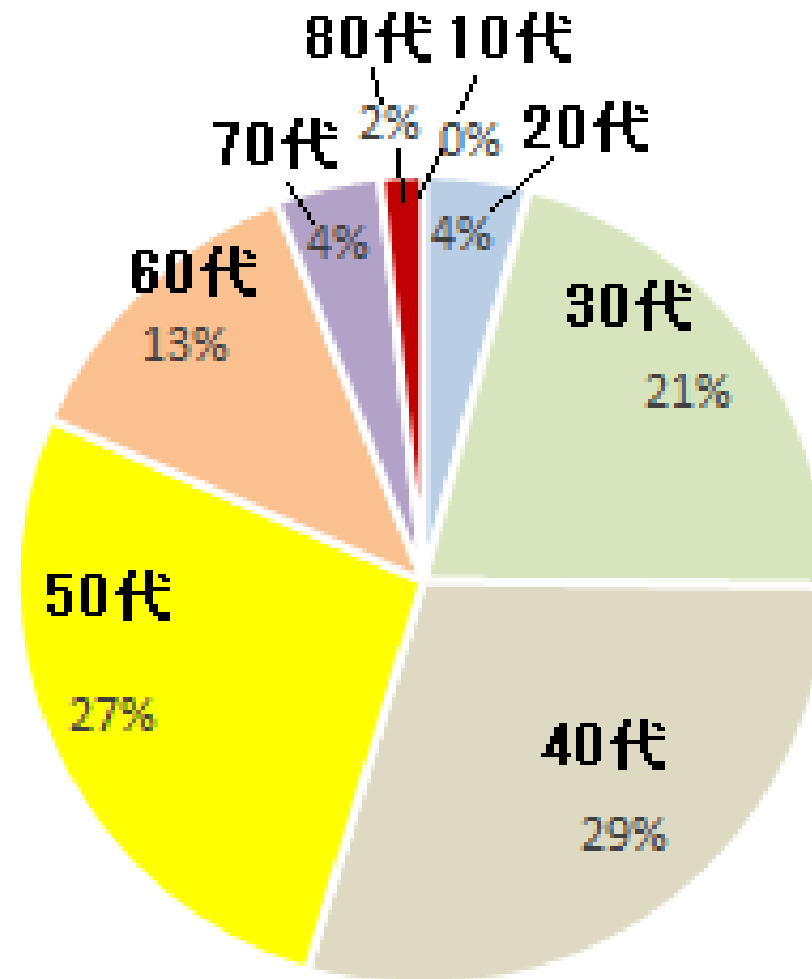


当事者活動の例(1)

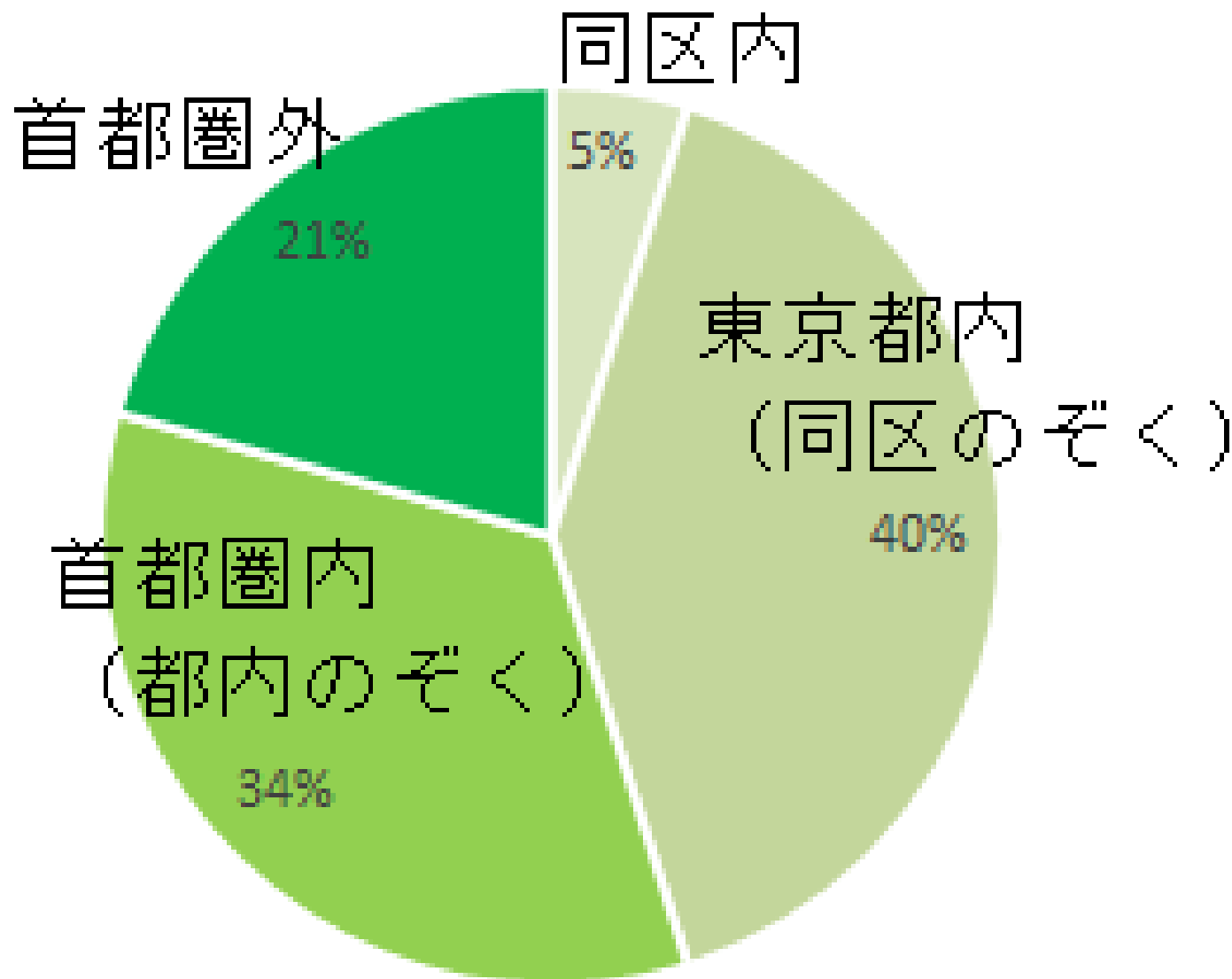
ひ老会 (ひきこもりと老いを考える会)



ひ老会参加者の年齢層分布



ひ老会参加者の地理的距離



ひ老会参加者の地理的距離

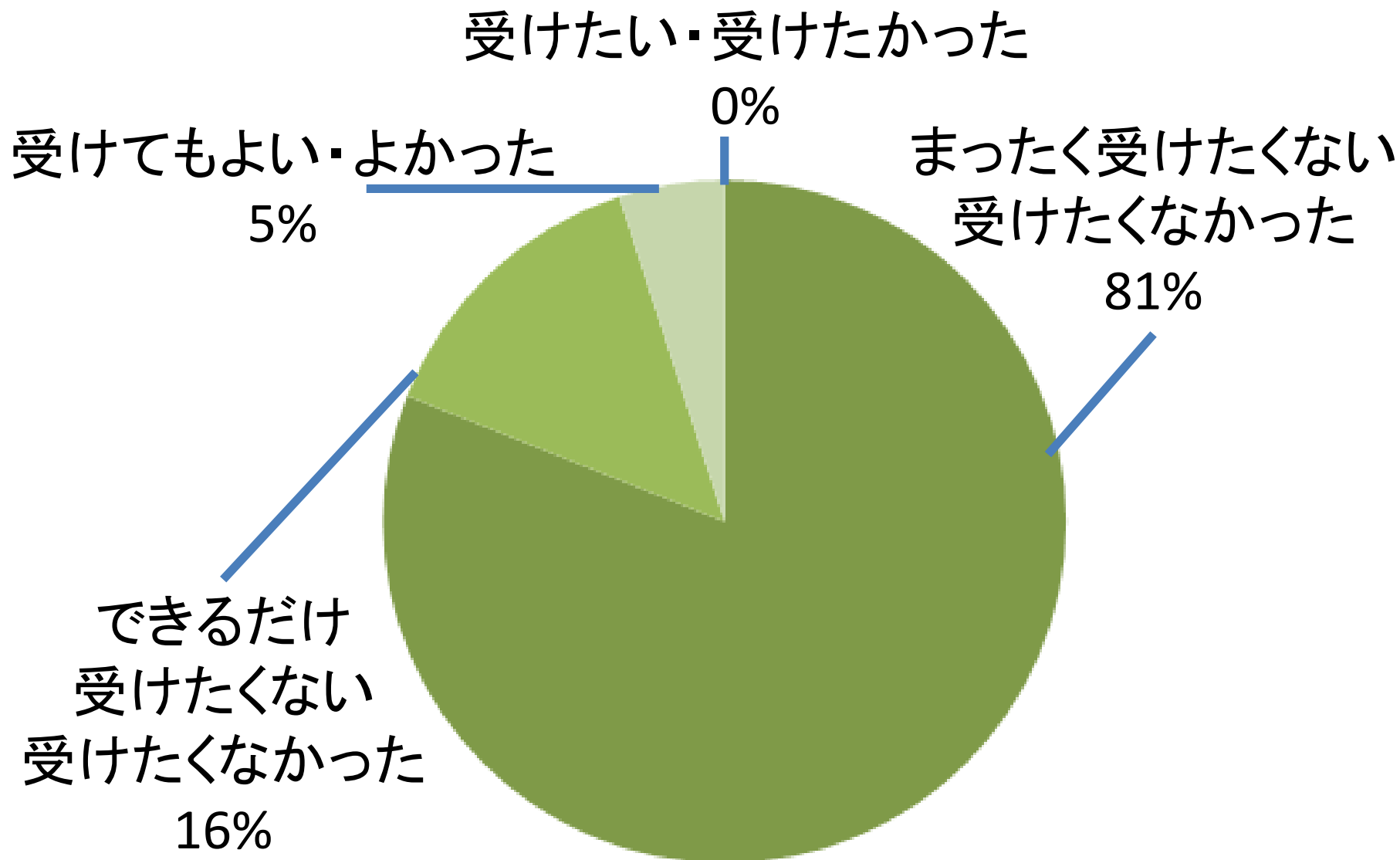
近所の居場所には行かない

自分に合った居場所は
高速バスに乗ってでも行く

参加者は場所の利便性よりも
「人」を求めて集まってくる

同じ問題の当事者

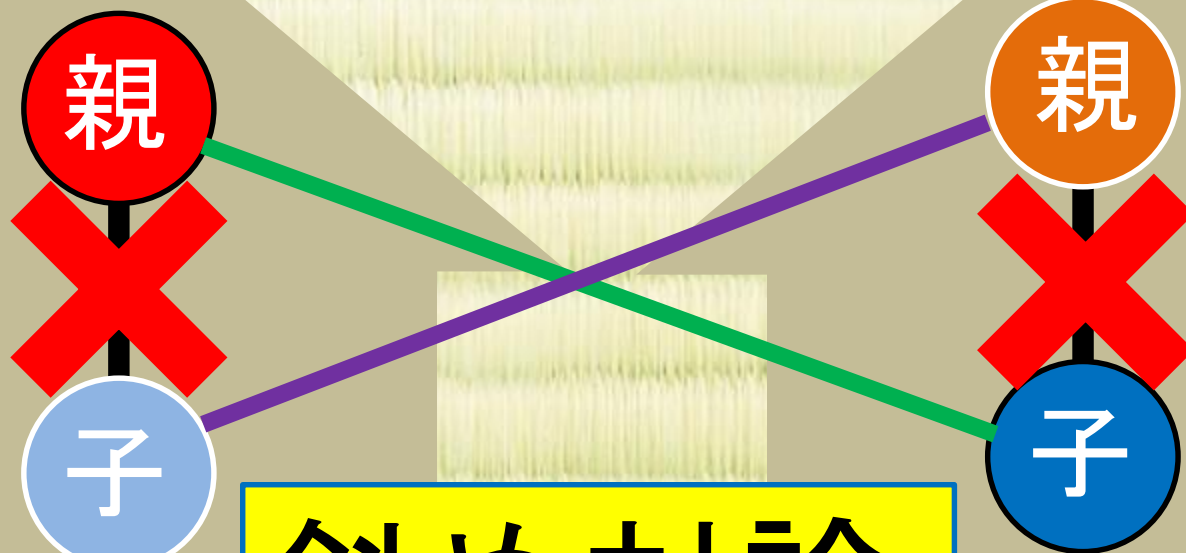
行政によるひきこもり支援の訪問を



当事者活動の例(2)

ひきこもり親子 公開対論

自分の親 / 子とは対話できない



斜め対論

これら**当事者活動**も
行政の後押しがあれば、
もっと多くの当事者に
アプローチできる。

